

平成30年度 旭川空港収支決算

CF (パターン①)

旭川空港事務所の経費は、一般会計で処理しており、
 歳入に、空港使用料(着陸料及び停留料)、行政財産使用料、雑収入のほか空港整備にかかる国庫支出金、道支出金、市債及び航空機燃料譲与税を充当している。
 歳出は、空港管理費、空港周辺及び空港車両の維持管理費のほか空港整備事業に係る経費を計上している。
 歳入・歳出差額分には、市税、地方交付税など一般財源を充当している。
 国管理空港の空港別収支の分類に旭川空港の収支決算を該当させた場合、以下のような試算結果となる。

CF (パターン①)

キャッシュフローベース収支

歳入項目

着陸料等収入	384,079,461
行政財産使用料収入	22,451,045
国庫支出金等	171,771,967
市債	94,400,000
雑収入	5,189,954
航空機燃料譲与税	283,946,000
歳入合計(1)	961,838,427

歳出項目

(単位:円)

空港等維持運営費等	912,728,121
国有資産所在市町村交付金	5,940,000
空港整備事業費(補助事業)	231,366,331
空港整備事業費(単独事業)	39,262,607
土地建物借料	0
借入金償還	50,039,558
歳出合計(2)	1,239,336,617

歳入合計(1)－歳出合計(2) **-277,498,190円**

I. キャッシュフローベース収支 表示科目説明

(1) 歳入項目

- 「着陸料等収入」には、着陸料収入、停留料収入を計上している。
- 「行政財産使用料収入」には、土地、建物等の使用による使用料収入を計上している。
- 「国庫支出金等」には、空港整備事業に係る国庫支出金、道支出金を計上している。
- 「市債」には、空港整備事業及び空港車両購入等に係る地方債を計上している。
- 「雑収入」には、駐車場電気代収入等を計上している。

(2) 歳出項目

- 「空港等維持運営費等」には、空港保安に係る運営費、滑走路等の維持運営費、空港車両購入費等を計上している。
- 「国有資産所在市町村交付金」には、市が所有する固定資産の所在する市町村に交付する交付金を計上している。
- 「空港整備事業費」には、空港整備補助事業及び空港整備単独事業に係る支出を計上している。
- 「土地建物借料」には、空港ターミナルビル事務室等の借用による支払借料を計上している。
- 「借入金償還」には、平成30年度の市債償還元金額及び利子額を計上している。

平成30年度 旭川空港収支決算

CF (パターン②)

旭川空港事務所の経費は、一般会計で処理しており、

歳入に、空港使用料(着陸料及び停留料)、行政財産使用料、市債、雑収入及び航空機燃料譲与税を充当している。

歳出は、空港管理費、空港周辺及び空港車両の維持管理費に係る経費を計上している。

国管理空港の空港別収支の分類に旭川空港の収支決算を該当させた場合、以下のような試算結果となる。

CF (パターン②)

キャッシュフローベース収支

歳入項目

着陸料等収入	384,079,461
行政財産使用料収入	22,451,045
国庫支出金等	-
市債	21,600,000
雑収入	5,189,954
航空機燃料譲与税	283,946,000
歳入合計(1)	717,266,460

歳出項目

(単位:円)

空港等維持運営費等	912,728,121
国有資産所在市町村交付金	5,940,000
空港整備事業費(補助事業)	-
空港整備事業費(単独事業)	-
土地建物借料	0
借入金償還	-
歳出合計(2)	918,668,121

歳入合計(1)－歳出合計(2) **-201,401,661円**

I. キャッシュフローベース収支 表示科目説明

(1) 歳入項目

- ・「着陸料等収入」には、着陸料収入、停留料収入を計上している。
- ・「行政財産使用料収入」には、土地、建物等の使用による使用料収入を計上している。
- ・「市債」には、空港車両購入等に係る地方債(空港整備事業に係る地方債を除く。)を計上している。
- ・「雑収入」には、駐車場電気代収入等を計上している。

(2) 歳出項目

- ・「空港等維持運営費等」には、空港保安に係る運営費、滑走路等の維持運営費、空港車両購入費等を計上している。
- ・「国有資産所在市町村交付金」には、市が所有する固定資産の所在する市町村に交付する交付金を計上している。
- ・「土地建物借料」には、空港ターミナルビル事務室等の借用による支払借料を計上している。